

今年のアフタースクールはインターネットで!

毎年、9月と11月に教育大学釧路校の堺研究室の協力を得て、アフタースクールを実施しています。教育大学の学生さんが羅臼町を訪れ土曜日と日曜日の午前中に勉強を教えてください。

羅臼小学校と春松小学校で3年生から6年生までを対象に行われます。勉強は、学生さんがそれぞれの学年に合わせた内容を考えてくれます。

勉強はとても楽しくしかもわかりやすく教えてください。

しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で学生さんが羅臼町に来て教えることができなくなりました。学生さん方は、今まで羅臼町で続けてきたアフタースクールをここで途絶えさせてはいけません。何とか続けることはできないかとインターネットで行うことを提案してくれました。早速両小学校に相談すると快く引き受けてくれました。

今回は、3・4年生、5・6年生と2学年ずつそれぞれ2回実施することになりました。3・4年生の1回目は、インターネットの使い方を中心に、5・6年生は慣れているのはじめから問題を解きました。しかも5年生、6年生とそれぞれ分けて行いました。Zoom（インターネット）には、グループに分けて行う機能もあるのには驚きました。

インターネットでのアフタースクールをどの子も大変楽しく受けていました。学生さんも、子ども達が楽しく学んでいけるように大変工夫された授業でした。



3・4年生



3・4年生



3・4年生



5・6年生



5・6年生



5・6年生

羅臼町幼小中高の教育 実践編

幼稚園・小学校・中学校・高校の令和2年度の取り組み



令和2年度 羅臼幼稚園の教育

【実践編】

教育目標～ 心身ともに健やかで、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

・げんきな子 ・やさしい子 ・がんばる子

今年度研究主題

幼児の主体的な遊びや活動を支える保育者の役割

幼児の主体性を支える

- ・ 幼児の興味・関心に沿った遊びや、幼児の思いが実現できるような遊びが展開される環境の工夫。
- ・ 友達と関わる中で互いの思いや考えを共有し、協同して活動することの楽しさが味わえるような経験の充実。



レストランごっこ

お店作りから自分達で考えます



「これくらい切る?」「うん」

友達とイメージを共有する姿



「傘をさしたら濡れないね」

雨の日もできる方法を考える

遊びの中で学びに向かう力を育む

- ・ 幼児が夢中になって遊ぶ姿から、何を感じ、何を学んでいるかを理解し、学びの過程を大切にする。
- ・ 自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める



「こうやったら火が起きるんじゃない?」

興味があることに真剣に取り組む姿



「貸して」「僕が使ったらね」

自分の思いを言葉で伝えます



どうしたら水が溜まるか考えます

道具を使って遊びが広がります

温かい人間関係を育む

- ・ 地域の人に親しみを感じたり、人とかかわりを楽しんだりする幼児の育成。
- ・ 地元の産業に興味・関心をもち、自分達の住んでいる羅臼の環境を守ろうとする気持ちを育む。



散歩に出かけると声を掛けて
見守ってくれる町内の方



交流活動では子ども達の体験が
広がります



市場見学→海鮮工房見学
羅臼の産業についても



令和2年度 春松幼稚園の教育

【実践編】

「出会い」「つながり」「広がり」

・幼児が対象と「出会い」、そこでの心を動かされる体験や獲得した知識・スキルが次の体験へと「つながり」「広がり」をみせるという「深い学び」をしっかりと読み取っていく。

- ・一人一人の幼児の体験を理解
- ・体験を共有、共感
- ・興味や関心を追求できるような環境構成と援助
- ・学びを更に深めたり、発展させたりできるような環境構成と援助



たきびごっこ

10月の月の歌『たき火』から歌詞の内容を知り、裏山で遊んだ時には、みんなで枯葉を集め園庭でたきびごっこをしました。

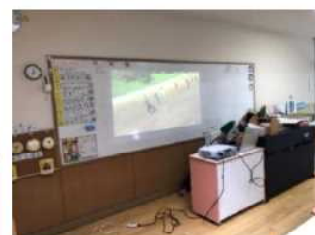
段ボール遊び

運動会の競技で使った段ボールを使って、おうちを作ったり、様々な素材に触れることができました。



一日の振り返り

帰りの会。今日の活動を振り返っています。動画や写真を見ることで友達の遊びに気づき、自分もやってみたい！明日やってみたい！と意欲につながりました。



ごみを捨てないでポスター作り

どんなポスターにしようかiPadで他のポスターを調べて参考にしました。



ポスター配り



昆布ヒレ刈り体験

昆布業の保護者の方が、昆布を商品にするまでの工程やヒレの刈り方を教えてくださいました。



連絡網 LINE グループ

各クラスのLINEグループでは、定期的に園での様子の写真をムービーにし送信しています。その他、その日の持ち物などの確認を朝、送信したりしています。



教育 ICT 活用



- ・ICT機器を使い、その日の遊びの場面の写真や映像を幼児たちが一緒に観ながら遊びを振り返り、新たな気づきや意欲につながるようにしていく。また、生活の中で幼児が深く知りたいと思ったことを調べたり、興味、関心がより高められるよう活用していく。
- ・幼児理解の共有や幼児の育ちの研修の際に、ICTを活用し職員研修を深めていく。

家庭・小学校・地域との連携



- ・保護者の視点で考え、開かれた園を目指す。
- ・海洋教育の活動を含め、幼児の活動をブログ、ドキュメンテーション等、様々な形で情報発信していく。
- ・幼児期の教育を通して身に付けたことを生かしながらか小学校以降の学びに繋がるように円滑な接続を図っていく。

令和2年度 羅臼小学校の教育 【実践編】

学校の教育目標

ふるさと羅臼を愛し、未来を担う、
人として豊かな心と確かな力を身につけた児童の育成

今年度の重点

「繋がり」を生かし子どもの成長が「実感」できる丁寧な教育を目指す

学力向上に関する取組



主体的に学ぶ児童の育成に向けた授業の実践



基礎基本を身につけ、学びを実感する子どもの育成に関わる日常的な授業改善のための研修の充実



コンピューターを利用した放課後学習の実施

健康・安全に関する取組



体育エキスパート教員による授業改善による体力向上を目指した取組



栄養教諭による食育指導



防災意識の向上にむけた「1日防災学校」等の取組

基本的な生活習慣の定着に向けた取組

- ・朝の挨拶の取組
- ・たてわり班活動
- ・生活アンケートの実施と改善に向けた取組



代表委員会児童による朝の挨拶運動

総合的な活動の時間（知床学「海洋教育」）の充実に向けた取組



地域のよさを生かした学習



地域の方に協力いただき進める学習



SDGsの考え方を生かした取組

令和2年度 春松小学校の教育【実践編】

学校の教育目標

ふるさとに誇りをもち、進んでかかわる子

今年度のテーマ

自分の思いを伝えあう

～「学びの喜びにあふれる学校づくり」を通して～

元気な子

自らつくる力の育成



食育



体育専科の授業



ミニ運動会



消火訓練

考える子

自ら学ぶ力の育成

問題解決的・体験的な学習の充実



児童総会



クマ学習



浄化槽学習



清掃センター見学



公開研究会



まちたんけん



SDGs 人生ゲーム



海洋教育全道発表

〇〇合う子

自らかかわる力の育成



寄贈マスクへのお礼



クリーン作戦



読み聞かせ



興学年交

バス待ちボランティア

令和2年度

羅臼町立知床未来中学校【実践編】



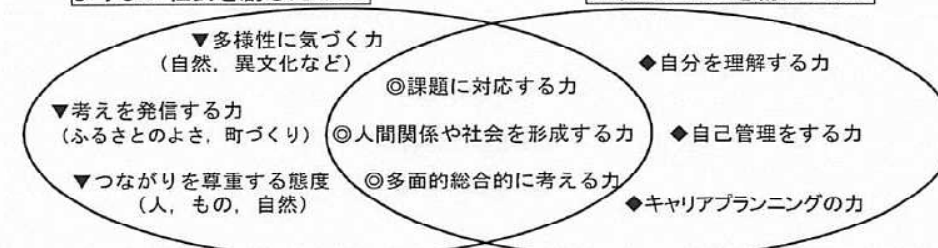
【今年度の重点】

- 1 主体的に課題を解決するための資質・能力の育成
- 2 豊かな心と望ましい人間関係の醸成
- 3 健やかな心とたくましい体の育成

身に付けさせる力

よりよい社会を創るために

よりよい人生を創るために



よりよい人生を創るために

- 【授業】主体的に学習に向かい、グループで課題解決に向けて考えを深め合う学習を通して、自ら学び考える力を育成。
- 【生徒会活動】自他の感じ方やとらえ方の違いについて理解し、様々な問題について主体的に取り組もうとする態度を育成。
- 【職業体験学習】「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断する力を育成。

よりよい社会を創るために

- 【知床学（海洋教育）】
- 地元を愛する生徒の育成。海洋教育パイオニアスクール発表会
- クルージング 地域のよさや課題について考えを深めることで、「多様性に気づく力」を育成。
- パンフレット 3年間で学習してきた成果を踏まえ羅臼町観光PRパンフレットを作成。近隣の空港や道の駅での配布を通して「考えを発信する力」を育成。
- 地域学習 北方領土学習の一環で新巻鮭づくりを実施。熊学習を1年生及び3年生で実施。また「ヒカリゴケ」についての学習も実施予定。



北海道羅臼高等学校の教育【実践編】



校 章

尾白鷺が大空を飛翔する姿に、校歌に託された『からだつよく、こころさえぎえ』の理念を示す

校 訓

「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳のごとく悠然と」

今年度の取組

公開授業研修

今年度も全教員が公開授業を実施し、授業工夫・改善、授業力の向上に努めました。公開授業後の研修会では町内教育関係者より頂いた他校種からのご意見は、幅広い視点からの貴重なものとなりました。また、他校種の授業を見学に行くことで、指導法の幅を広げています。



らうす高校生一日議会

2年生が6班に分かれ、羅臼町の公共施設の振興や観光地のごみ問題について高校生の視点から質問や提案をしました。これにより、実際に実現に向けて動き出しているものもあり、町を動かすことができたという驚きと喜びを実感しています。

2020年度海洋教育パイオニアプログラム全道成果発表会

ダイビング実習から学んだ海洋環境保護

本校からは、3年生の三河良輔君が「羅臼高校での取り組み」というタイトルでダイビング実習を通じた海洋環境の保護について学んだことについて発表をしました。今年も、知床ダイビング企画の協力により、羅臼沖でのダイビング実習を通して海洋生物と間近にふれあい海洋環境の尊さを実感することができました。



北海道ふるさと・みらい創生推進事業「高等学校 OPEN プロジェクト『全道ミーティング』」



知床財団、羅臼町教育委員会協力のもと2年生の杉山蓮弥君が小中一貫教育において、学んできた「クマ学習」を振り返って、ヒグマと共存することの難しさについて発表をしました。また「自然保護」というタイトルの座談会において、堂々と自分自身の意見を発表して、高い評価をいただきました。

「うみにゴミを捨てないで」 ポスターを配りました！

春松幼稚園ブログより

春松幼稚園で、代々受け継がれている「ゴミ拾い」

これまでの先輩方の姿を見ていた今年の年長すみれ組も、散歩や海遊びの時にゴミを見つけると、「ゴミ落ちてる！」と言って、拾い続けてきました。

4月から、子ども達が拾い続けた町内のゴミ、計60kg！

でも残念ことに、拾っても拾っても、また落ちているんです・・・

そこで、自分たち拾うだけではなく、「羅臼の人たちに、『ゴミを捨てないで』と知らせよう！」ということになり、子ども達で話し合いながらポスターを作りました。

そして、みんなで作ったポスターを貼ってもらうため、町内を回りました。

この日、春松幼稚園のすみれ組の皆さんは、先生方と一緒に「役場」「大地みらい信金」「郵便局」「羅臼漁業協同組合」「海上保安署」を回って、ポスターとチラシ入りのティッシュを渡しました。ポスターの掲示とティッシュの配布をお願いしました。

役場では、湊屋町長さんが園児と会ってポスターとティッシュを受け取ってくれました。現在役場では、1回にポスターとティッシュが置いてあります。

